

農業



令和3年10月号
会誌 No. 1682

目次

巻頭言

植物—地球を支える偉大な存在……………林 良博 3

論 壇

農村移住の夢と現実……………藤根 勝榮 4
—バトンは次世代に引き継がれるか—

農業懇話会

「令和2年度 食料・農業・農村白書」について……………平野 賢一 6

農事功績者座談会

園芸品目の導入や地域営農法人設立による地域振興……………松浦 敏 22
現地指導者のコメント……………伊藤 祐幸 28
意見交換 …………… 31

研究の最前線

施設栽培果菜類における灌水および施肥の……………速水 悠 38
適正管理技術の確立

農業・農村の現場から

ネパールと日本の架け橋になって未来の農業に……………ラマ・カンチャ 47
貢献したい

世界の農業は今

EUにおける有機農業の現状・課題と拡大戦略……………桑原田智之 51
—均衡ある成長・発展に向けたEUの取り組み，ドイツの事例—

私の経営と志

学びの共有でトマトの経営改善……………水野 弘樹 57
—当たり前前を，当たり前前—

食を楽しむ

食材の季語は素晴らしい……………向笠千恵子 59

統計情報

2020年農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率…………… 60

農政情報

大日本農会だより…………… 62

編集部から…………… 62

会誌「農業」に関するアンケート

表紙写真説明

リンゴ「シナノリップ」の収穫（長野県長野市）

長野県は全国2位の出荷量を誇るリンゴの名産地。中でもJAながのは、「なだらかに傾斜した水はけのよい地形」「昼夜の寒暖差」といったリンゴの生育に最適な条件がそろい、全国屈指の産地として知られています。管内の標高差（350～1,500m）により、旬の時期が7月～2月の長期間にわたって途切れることなく続いているのも特長です。

JAながのではさまざまなリンゴを栽培していますが、早生種の「シナノリップ」「夏あかり」や長野県オリジナル品種の「秋映」「シナノゴールド」「シナノスイート」のりんご3兄弟が人気です。

JAながの公式オンラインショップ「たーんとながの」から商品はお求めいただけます。ぜひご利用ください。

（ながの農業協同組合企画管理部組合員広報課 林 謙次）